

令和7年5月
品川区長 定例記者会見



はじめに

物価高騰や夏に想定される猛暑など、
区民の生活に多大な影響

消費の落ち込み

熱中症

補正予算(総額5億8,347万円)を機動的に編成し
物価高騰・猛暑対策の両側面から「緊急対策」を実施

1. 5月補正予算案：総額 5億8,347万円

◆主要施策

- | | |
|--|-----------|
| ① 共通商品券 プレミアム率大幅UP | 2億4,599万円 |
| ・デジタル商品券、紙の商品券いずれもプレミアム率(10%→25%)、販売額(8億円→12億円)への大幅拡大による経済対策 | |
| ② 高齢者熱中症見守り宅配事業 全国初 | 2億8,370万円 |
| ・75歳以上の高齢者を含む約36,600世帯に、所得制限なく熱中症対策飲料宅配と合わせアウトリーチ型見守り支援 | |

◆その他施策

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ③ 保育所等物価高騰緊急対策事業(都補助) | 4,941万円 |
| ④ 中原保育園・中原児童センター改築工事 インフレスライド | 437万円 |

2. 5月に開始する事業

「朝の小1の壁」対策 朝の児童の居場所確保(5月26日開始)

・朝の時間帯に児童が安全に過ごせる「居場所」を設置し、児童の安全安心と合わせ、子育て家庭を支援

① 共通商品券 プレミアム率大幅UP

予算:245,990千円

デジタル商品券、紙の商品券どちらもプレミアム率、販売額を大幅に拡大 物価高騰による消費の落ち込みへの経済対策

	利用可能店舗数	補正予算による拡充
デジタル商品券 (スマホアプリを活用) 新規導入	大型店含む 区内約8,500店舗	◆販売額(デジタル・紙) 現行:デジタル4億円、紙4億円(計8億円) ➡ 拡大:デジタル6億円、紙6億円(計12億円)
紙の商品券	品川区商店街連合会に 加盟する 区内約1,600店舗	◆プレミアム率 現行:10% ➡ 拡大:25%(3億円分)

1口1万円の購入で2,500円のプレミアム付与 ▶ **発行総額15億円**
プレミアムと合わせて

② 高齢者熱中症見守り宅配事業 **全国初**

予算:283,695千円

背景

過去最高であった昨年に引き続き、記録的な猛暑が想定
区民の生活を圧迫する急激な物価高

行政が実施する既存の熱中症対策には限界

※暑さをしのぐ一時避難場所「避暑シェルター(区内公共施設などに設置)」等の対応

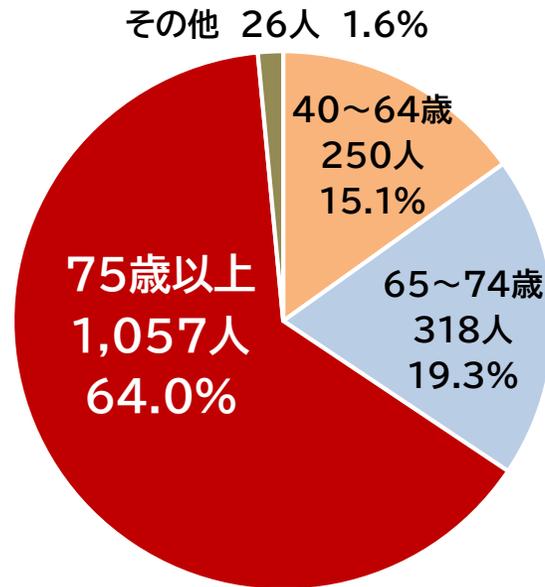
猛暑・物価対策の両側面から

これまでにない新たな熱中症対策の仕組みが必要

② 高齢者熱中症見守り宅配事業

参考データ① 令和5年 熱中症による死亡者数(全国)

熱中症で死亡した人のうち、
後期高齢者(75歳以上)の割合:64.0%



※厚生労働省:熱中症による死亡数 人口動態統計(確定数)より抜粋

参考データ② 熱中症による救急搬送人員(東京都)

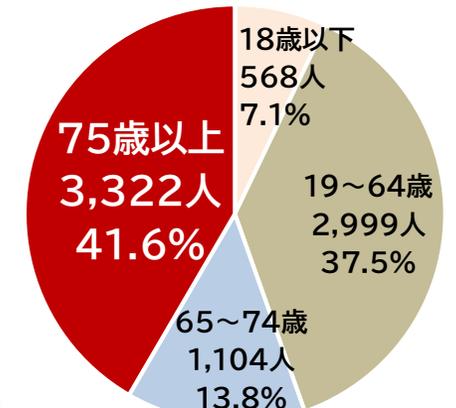
昨年の救急搬送人員は、過去最多の7,993人
うち75歳以上の後期高齢者の割合は41.6%(3,322人)



※東京消防庁熱中症統計資料より抜粋

年齢区分別の救急搬送人員
(令和6年6月~9月)

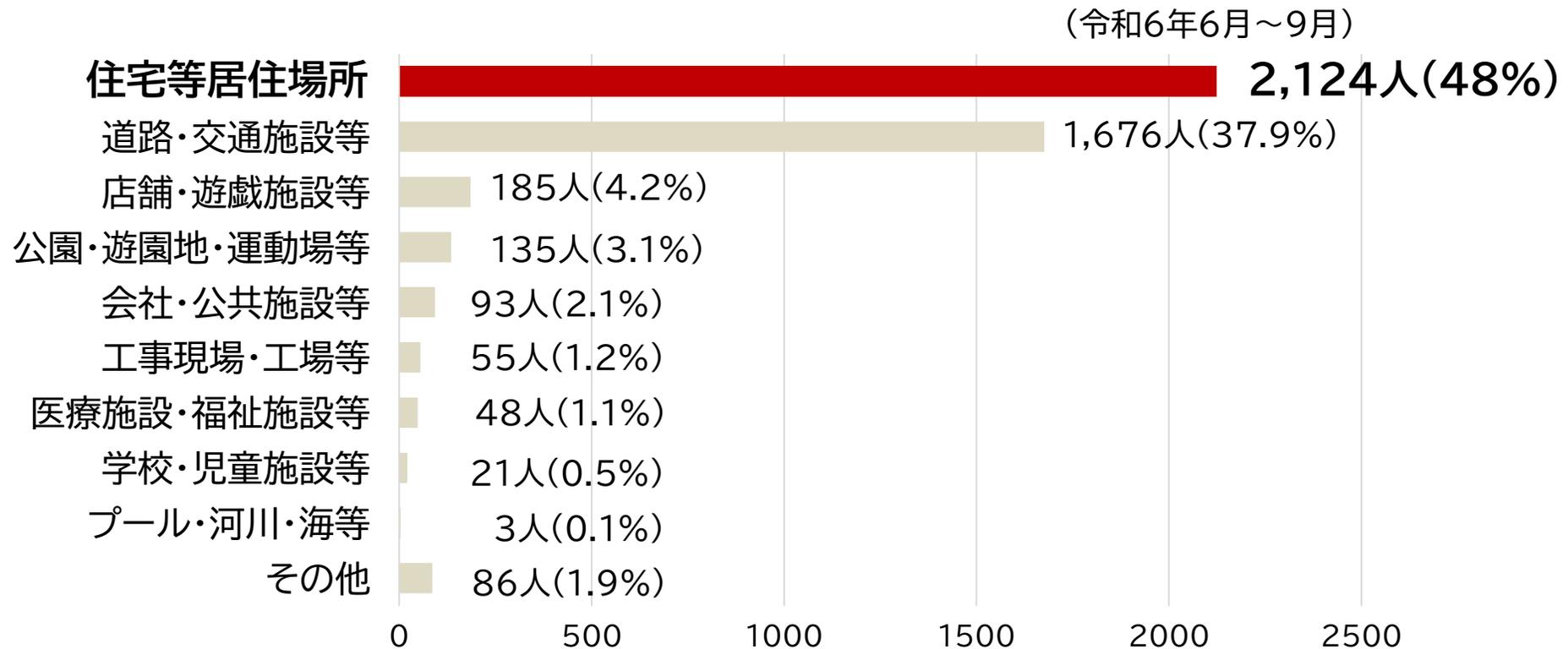
75歳以上の高齢者が
全体の41.6%を占める



② 高齢者熱中症見守り宅配事業

参考データ③ 高齢者の熱中症の発生場所(東京都)

高齢者の約半数が屋内で発生（発見の遅れが重篤化につながる）



※東京消防庁熱中症統計資料より抜粋

② 高齢者熱中症見守り宅配事業

内容

- ・高齢者への飲料配送(4,000円相当:スポーツドリンク・飲料水)により、猛暑・物価高騰への熱中症予防と経済支援の両面に対応する新たな見守り体制を構築
- ・飲料発送:2回(各回500ml×ペットボトル12本×2回)
※置き配は不可
- ・配送時、熱中症予防に関する見守り(チェックシート等)を配送事業者がタブレットで実施
チェックシート等の見守り状況の分析結果、継続支援が必要な区民は関係機関と連携し直接支援につなげる

対象

75歳以上の高齢者のいる全ての世帯(所得制限なし)

約36,600世帯

事業スキーム

75歳以上の高齢者のいるすべての世帯(所得制限なし)

⑤ 支援が必要な世帯への
事後フォロー

支援機関

- ・在宅介護支援センター
- ・民生委員 等

④ 見守り状況の分析による
継続支援情報の提供

② 計2回による飲料配達、
見守り(チェックシート等)による
生活状況の確認
※声掛け「エアコンをつけていますか」

事業者

- ・熱中症対策飲料配布
- ・見守り(チェックシート等)による確認

① 対象者リスト提供

③ 生活状況を
フィードバック

品川区

0歳児見守りおむつ宅配と同様に、高齢者へ新たなアウトリーチ型支援

③保育所等物価高騰緊急対策事業(都補助)

予算:49,406千円

背景

食材費・光熱費の価格高騰が
保育所運営にも影響
保育・教育内容の質の低下につながる恐れ



各保育所等に物価高騰相当額を一律に給付
保育・教育の質の担保、安定的な園運営を支援

※対象施設:私立認可保育所、認定こども園、
私立幼稚園など

④中原保育園・中原児童センター改築工事 インフレスライド

予算:4,372千円

背景

資材単価や労務単価の高騰により
2施設(中原保育園、中原児童センター)の
改築工事において請負者より
契約金額変更申請



インフレスライド条項による
増額の契約変更を実施

「朝の小1の壁」対策 朝の児童の居場所確保(5月26日開始)

背景

共働き世帯の増加に伴い、子どもが小学校に進学すると親が出勤した後に自宅でひとりで過ごす「朝の小1の壁」が課題

「朝の時間帯に児童が安全に過ごせる居場所」を設置し、
児童の安全安心と合わせ、子育て家庭を支援

概要

保護者の出勤時間が早く、通常の開門時間よりも前に学校に到着する児童を、体育館や図書室等に受け入れ、見守りを実施

開始日時

- ・開始日:令和7年5月26日(月)
※3校試行実施
(豊葉の杜は5月27日(火)開始)
- ・開設時間:午前7時30分～始業時刻

対象校

- ・3校試行実施
戸越小学校、源氏前小学校、
豊葉の杜学園
- ※利用者数などを検証後、
全校展開および朝食支援を実施

※開始初日(5月26日)、戸越小学校にて、メディア取材対応実施